

松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その周りを三之瀬瀬戸を借景とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる施設です。

朝鮮通信使が見た日本

朝鮮通信使資料館 御馳走一番館 Commemorative Museum of Korean Missions

江戸時代的外交使節団である朝鮮通信使は、釜山を出港すると、対馬、壹岐、藍島と進み、瀬戸内海を通過して大坂をめざしました。大坂から京都までは、参勤交代の時に使われる絢爛豪華な川御座船に乗って淀川を上り、京都の淀より陸路を歩いて江戸まで進みました。朝鮮通信使は各地を立ち寄った際に見た日本の風景を、使行録という記録に詳細に書いています。

本展では、所蔵資料を中心に朝鮮通信使が日本で見た風景を紹介します。また、呉市よりユネスコ「世界の記憶」に登録された資料、「朝鮮人來朝覚 備前御馳走船行烈図」も公開します。



「山水図」 崔北筆
延享5年(1748) 紙本墨画淡彩



「染付芙蓉手 VOC 欧字文大皿」
元禄様式 1690-1710年代



「色絵花鳥文角瓶」 柿右衛門様式
1670-90年代

古伊万里の旅

陶磁器館 Ceramics Museum

本展では、日本から海を渡り、世界へ旅した伊万里焼の歩みを紹介いたします。1610年代に、本格的に生産がはじまった日本初の磁器である伊万里焼は、1650年頃、ヨーロッパを中心とした海外にも輸出をされます。その背景には、それまでヨーロッパへ輸出されていた中国の磁器が、1644年に起こった、中国の王朝が明から清へ変わる内乱によって入手できなくなったことにあります。そこで、輸出を担っていたオランダ東インド会社は、日本の磁器を新たな輸出品として求めました。

伊万里焼は当初、中国の磁器を手本としていましたが、次第に日本独自の意匠も生まれ、それは輸出向けに作られた柿右衛門様式誕生につながります。

輸出された伊万里焼は、日用品として人々の暮らしを彩るだけでなく、宮殿を飾る装飾品としてヨーロッパの王侯貴族を魅了し、異国の文化の中で新たな価値を育んでいきました。海を渡った伊万里焼が世界で歩んだ軌跡と、その美しさをぜひご堪能ください。

学芸員によるギャラリートーク 陶磁器館と御馳走一番館(朝鮮通信使資料館)をご案内いたします。

開催日: 9/20(日)・10/4(日) 時間: 各日とも11時~(60分程度) 参加費: 無料(別途入館料が必要)



あかりの館(旧吉田邸)
Lamp Museum

山口県上関から移築した商家を利用して、世界の灯火器を展示しています。



蒲刈島御番所(復元)
GOBANSHO (guard house)

江戸時代、この下蒲刈にあった御番所を、上関に現存している建物を参考に復元しています。

◆周辺施設のご案内

- 蘭島閣美術館 広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1 ☎0823-65-3066
9/13(日)~10/26(月)『開館35周年 蘭島閣美術館 心に響く名品展 前期』
- 三之瀬御本陣芸術文化館 広島県呉市下蒲刈町三之瀬311 ☎0823-70-8088
9/13(日)~11/9(月)『時のかけら-江戸の美とくらし』
- 蘭島閣美術館別館 広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 ☎0823-65-2500
9/16(水)~11/30(月)『MANJIRO 裸婦に宿る魂』

◆交通 Access

🚗 広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈！
詳しくは、呉市観光案内所 ☎0823-23-7845 まで。

🚆 呉から電車とバス

JR 呉線で広島または仁方駅で下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社のバス「田戸・大浦・営農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。(バスは上下とも1時間に1本ほど運行しています。)

バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 ☎0823-70-7051

松濤園
facebook

展示やイベント情報など、随時更新♪

QRコードをスキャンまたは、
下記アドレスより facebook ページへアクセス！

<https://www.facebook.com/shoutouen/> 🔍 検索

